

インドネシア水道に係る情報収集 No. 180602W

検索サイト	Google	実施日	2018/06/01	実施者	T.Masuoka
検索方法：「Indonesia Water supply」で検索					
URL: https://www.wsp.org/sites/wsp.org/files/publications/WSP-Indonesia-WSS-Turning-Finance-into-Service-for-the-Future.pdf					
標題： Water Supply and Sanitation in Indonesia Turning Finance into Service for the Future					
内容： 題名 インドネシアの上下水道の現状 財政をサービスへ；未来への変換 世界銀行の 2015 年の報告書 SDA 分析（Service Delivery Assessment サービス・デリバリー・アセスメント）を用いて行ったインドネシアにおける世界銀行の Water and Sanitation Program（WSP）についての現状と今後の方策についての調査の報告（本報告書では、2013 年に実施した SDA 分析結果に基づき、WSP の方針の決定・実行経過について過去 3 年間の分析を行うとともに、2019 年完了に向けた目標と方策の決定を行った） 目的→インドネシア政府に対し、現状の分析の支援と、分析の結果明確になったボトルネックに対しての優先的なアクションの提示。 2015 年見直し結果；当初計画に対して予算大幅上昇。 水道→給水人口増加 2,400 万人/年、必要費用；47 億ドル/年 下水道→処理人口増加 1,600 万人/年、必要費用；28 億ドル/年 （2011 年計画時；普及率、水道→人口の 55%、下水道→56% 水道→サービス人口増加 2,400 万人/年、必要費用；31 億ドル/年 下水道→サービス人口増加 1,600 万人/年、必要費用；14 億ドル/年） ○課題；インドネシアは多くの島々からなり、対象が分散されている →各地方レベルのパフォーマンスのバラツキが大きい。 都市化の拡大による人口増加。 ○SAD 分析内容 ①過去の上下水道普及についての分析、見直し ②今後の投資計画の妥当性評価（原価計算モデル使用） ③目標達成のためのボトルネックを明確にするための スコアカード提示 *過去の分析/評価をもとに、今後の予算策定（インフラやハードウェア等への）の内容が、セクター目標を達成するために充分であるか、また、その資金が、効果的かつ持続的な上下水道サービスの提供を確実にするために使われるかを明確にする。					

目次

1. 初めに
2. 上下水道セクターの概要：普及率の推移
3. 改革の背景
4. 組織・法制度
5. 投融資とその実行
6. セクターの現状把握とその評価
7. サブセクター；地方水道
8. サブセクター；都市水道
9. サブセクター；地方下水道・し尿処理
10. サブセクター；都市下水道・し尿処理
11. 結論

Annex 1: インドネシアの SDA スコア

Annex 2: 所要資金的経費の推計に必要な主要データ（為替レート等）

Annex 3: 所要投資の見積額の比較（SDA 分析結果と WIRA/USDP の調査結果との比較）

備考：インドネシアの水道全般については、上記世界銀行と下記アジア開発銀行（2012）による報告書があるが、この世界銀行による報告書の方がより最新のデータを提供している。

ADB: Indonesia : Water Supply and Sanitation Sector Assessment, Strategy, and Road Map, December 2012